学校目標　「やる気いっぱい　やさしさいっぱい　友だちいっぱい　蒔田の子」
横浜市立蒔田小学校だより

平成２７年度

まいた

６月号

平成２７年５月２０日

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/

一人ひとりが輝き、みんなが輝いた運動会
～つなげ　情熱のバトン～

副校長　青木　智

暑すぎるほどの晴天の中、５月２３日（土）に平成２７年度の運動会が無事終了しました。当日は、早朝より多くの来賓・保護者・地域の方々にお越しいただき盛大に実施できました。今年度から、「校庭の全面立ち見」を進めたことで、保護者・地域の皆様にご配慮をお願いした部分が多かったのですが、きまりを守っての来校・シート敷きをしていただいたり、譲り合って参観をしていただいたりしたおかげで、滞りなく運動会を進めることができました。保護者・地域の皆様の深いご理解とご協力に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

子供たちは、クラスや学年、そして学校全体で協力しながら準備を進めてきました。１年生は小学校初めての運動会にドキドキしながら、６年生は小学校最後の運動会に思いを込めながら、また、２年生から５年生もそれぞれの学年に応じためあてをもち、とてもよく頑張っていました。運動会当日は、今までの練習の成果をすべて発揮するかように、どの子の表情も真剣で、生き生きと輝いていました。

１・２年生の『マイターランドでグッドラッキー！』は、元気よく生き生きとした演技を披露しました。１年生は、小学校での初めての運動会で自信がついたように思えました。２年生の動きを見ると、１年間の成長をとても感じました。

３・４年生の『フラッグダンス　～みんなで踊ればあったかいんだからぁ～』は、風になびく旗を使って動きを合わせ、全体で統一した演技を見せてくれました。

５・６年生の『〈蒔田ソーラン〉威風凛々！蒔田ソーラン２０１５「翔」』は、自分の思いを背中の一文字に表した法被を纏い、一人ひとりの力強い動きが合わさり、迫力ある見事な群舞となりました。

徒競走やリレーでは、友達と競い合うことで自分の力を最大限発揮して必死で頑張る姿や最後まで諦めずに駆け抜ける姿に大きな拍手が送られました。また、全校での大玉送りやブロック競技等、一致団結しなければならない団体競技では、仲間同士が協力したり補い合ったりする場面がたくさん見られ、『なかま』という意識が生まれていたのを感じました。

競い合い、磨き合う中で、意欲をもって競技や演技に取り組み、夢中になってやり遂げ、そこから大きな満足を感じていた子供たち。まさに、「一人ひとりが輝き、みんなが輝く」姿を運動会で見ることができました。この運動会が子供たちの大きな成長の機会となったと感じています。

保護者や地域の皆様には、早朝から閉会式まで運動会の様子を温かく見守り、終始温かなご声援と心からの拍手をいただきました。きっと、子供たちの心にしっかり届いたことでしょう。

ＰＴＡ役員さんをはじめ多くの保護者の方、青少年指導員・スポーツ推進委員、地域の女性部の方々等、たくさんの方に多大なご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

さて、運動会での子供たちの様子を見ていると、今の子供たちの運動能力が落ちていることが信じられないような気がしますが、果たして実態はどうなのでしょうか。

新体力テストの結果（文科省）によると、ソフトボール投げや５０メートル走の結果は、明らかに３０年前と比べて落ちています。一見すると、プロスポーツは以前に比べて盛んになり、スポーツクラブ等に参加する子供たちが増えているように思いますし、子供たちの栄養状態も向上していると考えられるのに、実測してみるとなぜ運動能力が下がっているのでしょうか。確かに学校でのけがの状況を観てみると、かつては考えられなかったようなけがが起きています。また、校外活動等で体力不足を感じることがあります。

改めて子供たちの生活を見てみると、遊びが大きく変わってきたのを感じます。何年か前から子供たちが夢中になるのは、ゲームやテレビ、マンガ。外に出て仲間と遊びたくても『時間・空間・仲間』が子供たちの回りから消えかかっているのです。「土手を駆けのぼる」「グランドを走る」「相撲をする」「ボールをついたり投げたり何かに当てたりする」「鬼ごっこをする」「陣取りをする」等かつて子供たちは友達と夢中になって遊ぶ時間があり、これらの遊びの中で知らず知らず、腕の筋力や足の脚力･持久力などが身についていったのだと思います。それが自然と子供たちの体力や運動能力を高めていったのではないでしょうか。前述の体力・運動能力調査の結果でも、週３回の運動している子は週１回の運動している子に比べて記録の差が小さいことが明らかになっています。子供たちの体力や運動能力を高め維持するためには、毎日の運動が必要だと言うことを意味しているようです。

安全や場所等の問題は一朝一夕では解決できないものです。でも、運動会での生き生きした子供たちの姿を見ると、何とか子供たちに自然に体を動かして遊ぶ時間を確保していけないかと感じました。